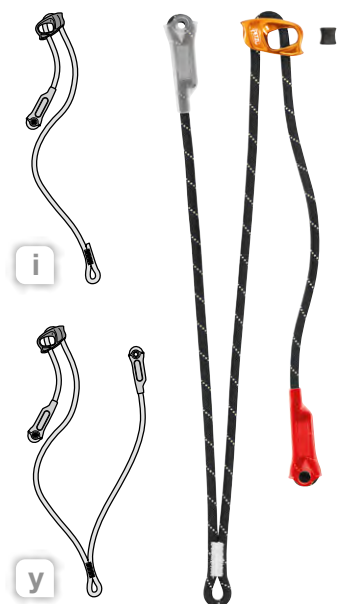


- PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ベツルは製品の使用期間を通し、12 ヶ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
- PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。点検に関する資料はベツルのウェブサイト PETZL.COM からダウンロードできます。



プログレス アジャスト

1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められるPPEは、詳細点検を受けるまで隔離されなければなりません。

ユーザーは以下の事を行う必要があります：

- 使用状況に関する正確な情報を記録する - PPEに対して生じた特殊な状況を記録する (例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。
備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は 2 種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

製造年
製造日
検査担当
識別番号

00 000 AA 0000

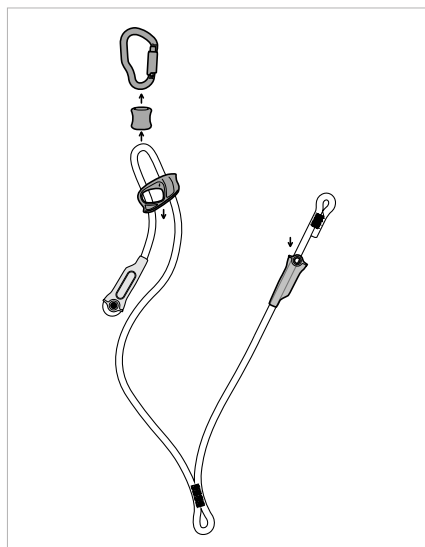
コード B:

製造年
製造月
ロット番号
識別番号

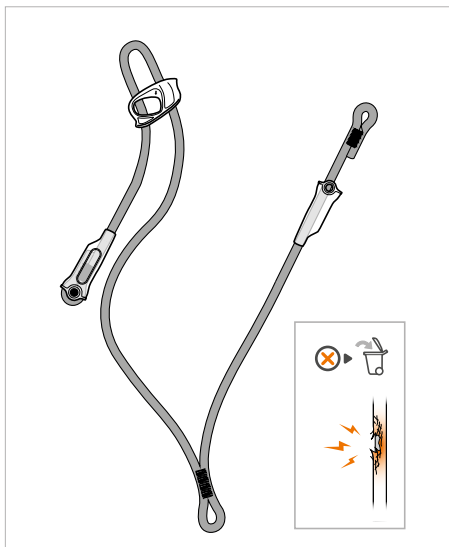
00 A 0000000 000

耐用年数を超えていないことを確認してください。
新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよび
パーツが欠損していないことを確認してください。

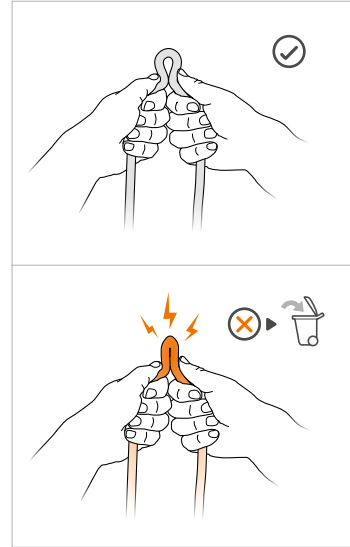
3. ロープの状態の確認



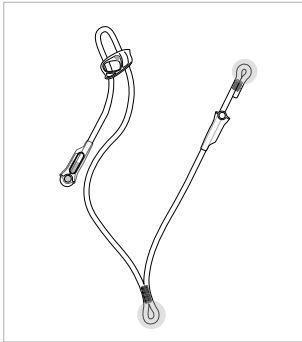
- コネクターを全て外してください。隠れた箇所を点検できるように、保護スリーブおよびロープクランプをずらしてください。



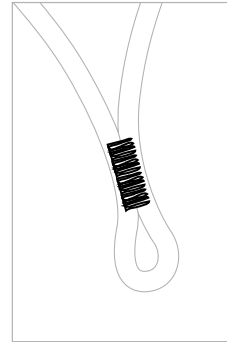
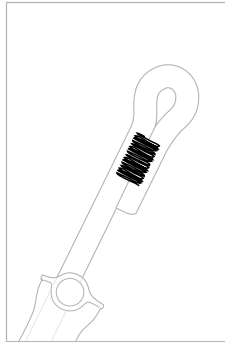
- 使用による摩耗や損傷 (切れ目、毛羽立ち、化学製品との接触による損傷等) がないことを確認してください。



- ロープ全体を手に通し、芯の状態 (かたい箇所、膨張、柔らかいまたは潰れた箇所等) を点検してください。

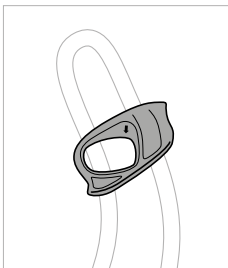


- ハーネスアタッチメントホールおよびランヤードの末端のロープの状態を確認してください。



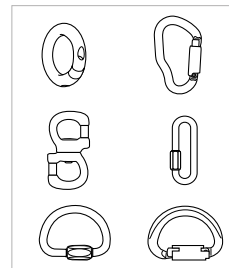
- 安全に関わる縫製の状態を全ての箇所について確認してください。繊維系にゆるみ、摩耗、または切れ目がないことを確認してください。

4. ロープクランプの状態の確認



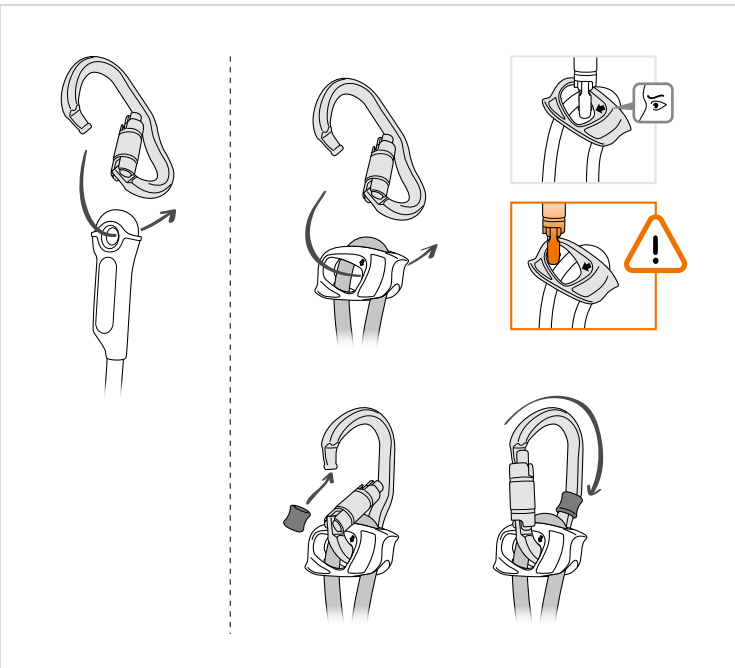
- ロープクランプの状態(傷、摩耗、ひび、変形、腐食など)を確認してください。

5. コネクタの状態の確認

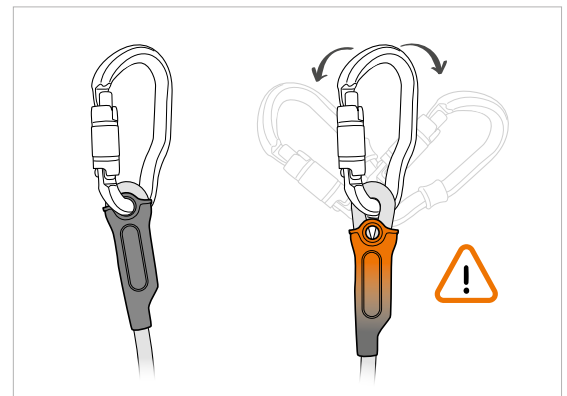


- コネクタの点検については、そのモデルの点検フォームを Petzl.com から参照してください。

6. コネクタの再取り付け



- コネクタを再度取り付けてください。
- コネクタがロープクランプに正しくセットされていることを確認してください。



- プラスチック製保護スリーブがコネクタを適切な位置に維持していることを確認してください。

7. 機能確認

地上レベルでランヤードを支点にセットしてください。

- ランヤードの長さ調節がスムーズに行えることを確認してください。
- ロックの効き具合 (荷重をかけた際にスリップしない) を確認してください。

